



ミニトマト編



病害虫注意報
2019年7月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します!

おすすめローテーション

主な感染時期は育苗期後半から生育初期と考えられています。
粒剤や黄色粘着板等を活用して防除していきましょう!

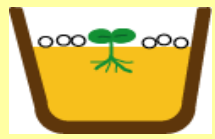
対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数	
					ミツバチ	マルハナ
コナジラミ類・アブラムシ類 ハダカバエ類	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍 (ハダカバエ類は2,000倍)	前日	3回	25日	15日
コナジラミ類・ハダカバエ類 アザミウマ類・オオタバコガ ハスモントウ	カウンター乳剤	2,000~3,000倍 (ハダカバエ類・アザミウマ類は 2,000倍)	1番花の 開花まで	4回	1日	
コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類	ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍	前日	3回	10日以上	

育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※下記粒剤は時期によって**使用方法**が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。

灌 注 剤	育苗期後半 ~定植当日	ベリマークSC 薬量25ml/400株 (ハチ影響日数1日) 水量10~20L/400株	※定植3~5日前処理が オススメです!
	粒 剤	育苗期 または 定植時	アルバリン粒剤 1~2g/株 (セイヨウマルハナバチ: 10日 クロマルハナバチ: 22日)
			ベストガード粒剤 1~2g/株 (ハチ影響日数30日以上)

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

物理的防除を併用しましょう!

周辺の雑草や
野生生え株を除去!

コナジラミの発生源となります!

黄色粘着板で捕殺

株の新芽あたりに
ぶら下げておくと効果的!

ネットの目合いは0.4mm以下

これより大きい目合いだと
コナジラミが通過してしまいます

登録追加情報

プロパティフロアブル

トマト・ミニトマトでも
使用可能になりました!

【登録内容】
うどんこ病
3,000倍/収穫前日
2回以内



削除情報

モベントフロアブル

灌注登録が
削除されました!
(6月26日付)

※散布は引き続き
使用できます!

